

東京キリストの教会 QT シリーズ 第二ペトロの手紙

六週目：第二ペトロの手紙 2章～3章

<9月28日(月)> 偽預言者・偽教師への警告

2ペトロ2：1～3

1 かつて、民の中に偽預言者がいました。同じように、あなたがたの中にも偽教師が現れるにちがいありません。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込み、自分たちを贖ってくださった主を拒否しました。自分の身に速やかな滅びを招いており、2 しかも、多くの人が彼らのみだらな楽しみを見倣っています。彼らのために真理の道はそしられるのです。3 彼らは欲が強く、うそ偽りであなたがたを食い物にします。このような者たちに対する裁きは、昔から怠りなくなされていて、彼らの滅びも滞ることはありません。

解説：

イスラエルには、まことの預言者たちとともに、偽預言者が存在してきたこと、また、その歴史は繰り返されてきたことを、ペテロは旧約聖書を通して知っていました。神の民の間には、常に偽教師たちがいたし、これからも常に存在するだろうと未来についても伝えています。偽預言者・偽教師は、「滅びをもたらす異端」をひそかに持ち込んだとあります。「滅びをもたらす異端」は、まことの信仰を破壊するもので、イエスの十字架のメッセージを否定するものでした。「持ち込む」という動詞には、「(まことの教えと) いっしょに持ち込む」という意味(含み)があります。このような偽預言者・偽教師には、昔から裁きが必ずあるとペテロは厳しく伝えています。

質問/実践：

- 1 私たちが、人と聖書の勉強をする時、人々を助ける時、「まことの信仰」を持って「聖書の言葉」「私たちの確信」を伝えていますか。
- 2 偽預言者・偽教師は、本当の教えと一緒に巧みに、ひそかに偽物の教えを持ち込みました。私たちは、それに気づけるように、聖霊に頼っていますか。または、自分自身が、正しい神様を伝えられるように祈っていますか。

<9月29日(火)> 偽預言者・偽教師の特徴

2ペトロ2：4～10a

4 神は、罪を犯した天使たちを容赦せず、暗闇と言う縄で地獄に引き渡し、裁きのために閉じ込められました。5 また神は昔の人々を容赦しないで、不信心な者たちの世界に洪水を引き起こし、義を説いていたノアたち八人を保護なさったのです。6 また、神はソドムとゴモラの町を灰にし、滅ぼし尽くして罰し、それから後の不信心な者たちへの見せしめとなさいました。7 しかし神は、不道德な者たちのみだらな言動によって悩まされていた正しい人ロトを、助け出されました。8 なぜなら、この正しい人は、彼らの中で生活していた時とき、毎日よこしまな行為を見聞きして正しい心を痛めていたからです。9 主は、信仰のあつい人を試練から救い出す一方、正しくない者たちを罰し、裁きの日まで閉じ込めておくべきだと考えておられます。10 特に汚れた情欲の赴くままに肉に従って歩み、権威を侮る者たちを、そのように扱われるのです。

解説：

ペトロは、墮落した天使たちの高慢と反逆（4節）、ノアの時代の人たちの無関心と不従順（5節）、ソドムとゴモラの人たちの飽きることのない肉欲に対して、えこひいきのない神様の裁きの事例を挙げており、それが滞ったとしても確実に到来することについて語っています。それらすべてが、ペトロが警告していた偽預言者・偽教師の特徴でした。そんな偽預言者・偽教師と並行して、ノアやロトがそうだったように、神様に立ち返り、その救いを呼び求める者たちを神様は救い出すと言う計画も確かにあり、神様は正義の方で侮ってはならないこと、神様は恵み深く、依り頼むことのできる方であることを覚えていく必要があります。

質問/実践：

- 1 神様は、偽預言者・偽教師たちの高慢・反逆・無関心・不従順・肉欲などの罪に対して、どのような裁きをされましたか。今、あなた自身が戦っている罪は何ですか。小グループの兄弟姉妹に告白して戦いましょう。
- 2 神様は、ノア・ロトなどの正しくあろうとした人に対して、神様に立ち返ろうとしている人に対して、憐れみをもって救い出してくださる方です。あなたが罪に陥った時に、神様の憐れみを思い出し助けられた聖句は、何ですか。今日、兄弟姉妹にシェアしましょう。

<9月30日(水)> 偽教師の本質とバラムの罪

2ペトロ2：12～16

12 この者たちは、捕らえられ、殺されるために生まれてきた理性のない動物と同じで、知りもしないことをそしるのです。そういった動物が減びるように、彼らも滅んでしまいます。13 不義を行う者は、不義にふさわしい報いを受けます。彼らは、昼間から享楽にふけるのを楽しみにしています。彼らは汚れやきずのようなもので、あなたがたと宴席に連なるとき、はめを外して騒ぎます。14 その目は絶えず姦通の相手を求め、飽くことなく罪を重ねています。彼らは心の定まらない人々を誘惑し、その心は強欲におぼれ、呪いの子になっています。15 彼らは、正しい道から離れてさまよい歩き、ボソルの子バラムが歩んだ道をたどったのです。バラムは不義のもうけを好み、16 それで、その過ちに対するとがめを受けました。ものを言えないろばが人間の声で話して、この預言者の常軌を逸した行いをやめさせたのです。

解説：

ペトロは偽教師のような邪悪な人間を野生の動物に例えています。彼らは本能の奴隷であり、快樂を人生の目的とすることは、ついには自身の身体的健康、精神、人格、心を滅ぼすことになる、と警告しています。またペトロは、そのような人たちを預言者バラムにも例えています（民数記22—24章）。ユダヤ人の中では、バラムは悪質な偽預言者の典型と考えられており、モアブの王バラクがイスラエル人を呪わせるために、多大な報酬を準備し、バラムの貪欲な心が動かされました。バラムは貪欲で、イスラエルに罪を犯すことを教え、人々を正しい道から外させ、曲がった道へと導き、神の約束と忠誠を忘れるように説得しました。当時の偽教師はバラムのような存在になっていました。

質問/実践：

- 1 私たちの心はどのような欲に支配されることが多いでしょうか。過去の弟子人生も振

り返ってみてください。過去から学び、現在のメタノイアにつなげていきましょう。

- 2 小グループの一人一人が正しい道から離れてさまよい歩いてしまわないように、守られるように名前を出して具体的に祈りましょう。より具体的に祈れるように、互いに聞き合ひましょう。

<10月1日(木)> 偽教師の傲慢とキリストによる自由

2ペトロ2：17～22

17 この者たちは、干上がった泉、嵐に吹き払われる霧であって、彼らには深い暗闇が用意されているのです。18 彼らは、無意味な大言壮語をします。また、迷いの生活からやっと抜け出て来た人たちを、肉の欲やみだらな楽しみで誘惑するのです。19 その人たちに自由を与えると約束しながら、自分自身は滅亡の奴隷です。人は、自分を打ち負かした者に服従するものです。20 わたしたちの主、救い主イエス・キリストを深く知って世の汚れから逃れても、それに再び巻き込まれて打ち負かされるなら、そのような者たちの後の状態は、前よりずっと悪くなります。21 義の道を知っていながら、自分たちに伝えられた聖なる掟から離れ去るよりは、義の道を知らなかった方が、彼らのためによかったであろうに。22 ことわざに、／「犬は、自分の吐いた物のところへ戻って来る」また、／「豚は、体を洗って、また、泥の中を転げ回る」と言われているとおりのことが彼らの身に起こっているのです。

解説：

ペトロは、続けて偽教師の傲慢を指摘し、彼らが言う自由は情欲の奴隷であると厳しく非難しています。パウロも「この自由を、肉を満足させる機会とせず」（ガラテヤ5：13）と伝え、ペトロ自身も「その自由を、悪を行う口実とせず」（1ペトロ2：16）と伝えています。さらに、一度キリストの本当の道を知りながらも再び世の道に逆戻りするのであるならば、事態は一層悪いものとなる、というメッセージもキリストによるものでもあります（マタイ12：45、ルカ11：26）。偽教師のメッセージはキリストと教会に矛盾する非常に傲慢なものでした。

質問/実践：

- 1 私たちは神様から多くの恵み、祝福、自由を与えられていますが、それらを通して神様に栄光を返しているのでしょうか。それとも自分を満足させるものになっているのでしょうか。
- 2 以前の自分や、世の道に逆戻りしてしまっている部分がありますか。謙虚に、家族、小グループなど自分をよく知る周りの人にフィードバックを求めましょう。

<10月2日(金)> 手紙の目的と弟子たちへの奨励

2ペトロ3：1～2

1 愛する人たち、わたしはあなたがたに二度目の手紙を書いています。それは、これらの手紙によってあなたがたの記憶を呼び起こして、純真な心を奮い立たせたいからです。2 聖なる預言者たちがかつて語った言葉と、あなたがたの使徒たちが伝えた、主であり救い主である方の掟を思い出してもらうためです。

解説：

ペトロは三章で、異端者たちへの攻撃から、忠実な弟子たちを奨励へ転換しています。弟子たちの記憶を呼び覚まそうと、「愛する人たち」と呼びかける表現が三章で四回も出てくるのはそのためでしょう（1、8、14、18節）。ペトロは、自分が何者であるかを呼び起こし、純真な心を奮い立たせるように励ましています。ペトロ自身の命に危険が迫りながらも、迫害や偽教師による苦難の中にある羊を励まし、信頼し、愛する姿はペトロの真の羊飼いのしるしです。

質問/実践：

- 1 自分がバプテスマを受けた時のビデオや手紙を見返して下さい。そして、純粋な心を奮い立たせましょう。
- 2 ペトロの羊をケアする心と比べ、私たちの小グループを愛する、励ます心はどうでしょうか。

<10月3日(土)> 主の忍耐と主の日を待ち望む心

2ペトロ3：8～13

8 愛する人たち、このことだけは忘れないでほしい。主のもとでは、一日は千年のようで、千年は一日のようです。9 ある人たちは、遅いと考えているようですが、主は約束の実現を遅らせておられるのではありません。そうではなく、一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために忍耐しておられるのです。10 主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は激しい音をたてながら消えうせ、自然界の諸要素は熱に熔け尽くし、地とそこで造り出されたものは暴かれてしまいます。11 このように、すべてのものは滅び去るのですから、あなたがたは聖なる信心深い生活を送らなければなりません。12 神の日の来るのを待ち望み、また、それが来るのを早めるようにすべきです。その日、天は焼け崩れ、自然界の諸要素は燃え尽き、熔け去ることでしょう。13 しかしわたしたちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神の約束に従って待ち望んでいるのです。

解説：

主の来臨の遅延を嘲る者たちがいたが、神の裁きの遅延は、神の無能ではなく、憐れみと忍耐によるものです。聖書では、全ての人々が救われることを望んでいる神様が一貫して存在しています。また主の来臨への不信仰から行動への無関心を生み出していたため、偽教師に惑わされず、清い生活を送ること、忍耐して主の日を待ち望むことを呼びかけています。

質問/実践：

- 1 神様が私たちの救いのためにどれほど忍耐して下さったかを思い出しましょう。そこにどれほどの神様の愛があるのでしょうか。
- 2 神様がどれほど、他の人の救いに忍耐し、待ち望んでいるのでしょうか。私たちは失われている魂に対して神様と同じ思いでしょうか。

<10月4日(日)> ペトロの最後の教え

2ペトロ3：14～15、17～18

14 だから、愛する人たち、このことを待ち望みながら、きずや汚れが何一つなく、平和に過ごしていると神に認めていただけるように励みなさい。 15 また、わたしたちの主の忍耐深さを、救いと考えなさい、、、 17 それで、愛する人たち、あなたがたはこのことをあらかじめ知っているのですから、不道德な者たちに唆されて、堅固な足場を失わないように注意しなさい。 18 わたしたちの主、救い主イエス・キリストの恵みと知識において、成長しなさい。このイエス・キリストに、今も、また永遠に栄光がありますように、アーメン。

解説：

ペトロは、偽教師たちを「汚れやきずのようなもの」（2：13）と表現し、主キリストを「きずや汚れのない」（1ペトロ1：19）方であったことを対比させることで、主の来臨の時まで、きずや汚れが何一つないように、キリストの性質のうちに留まるように励ましています。そうでないと、偽教師たちに心が動かされてしまい、救いの恵みの立場から落ちてしまうからです。まさにペトロが教会にとってのケファ「岩」になるビジョンをイエスから与えられたように、堅実にキリストと使徒ペトロの教えに留まるように伝えていきます。

質問/実践：

- 1 昨日の内容にもありますが、私たちの生活の清さ、聖さはどうでしょうか。正直に振り返りましょう。必要があれば、小グループに勇気を持って打ち明けてください。
- 2 私たちの人生のどの面で、罪や世の中の文化に対して、より強く立つことができますか。